
部活でのmemory

櫻庭 麗華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

部活でのmemory

【Nコード】

N2427Y

【作者名】

櫻庭 麗華

【あらすじ】

辛い思いや苦しい思いをしたなかで3年間頑張った部活動での思い出を詩にしてみました。

この3年間いろんな事にぶつかりました。
特に部活動で・・・

でも、その都度たくさんの人に助けられてきました。

・・・1年生・・・

何もかも初めてで何も分からないまま

部活動見学↓部活入部へ

私が決めた部活は『なぎなた』

どうしてなぎなた部だったのだろう・・・

なぎなたの先輩に私が保育所の時からの

友達がいなかったからかな・・・

先輩がおもしろかったからかな・・・

顧問の先生が1番最初に心を開いた人だから・・・
なんでだろう。

・・・2年生・・・

部活動だけでなくさんの壁にぶつかりました。

夜練の送り迎えのこと、

友達関係。

友達関係が嫌で嫌で『部活を辞めたい』

と何度思ったことが分かりません。

そう思ったら、

部活にわざと遅れて行ったり

休んだりいろんなことしました。

すごく辛くて苦しかったです。

・・・3年生・・・

部活引退まで半年間。

私にとって

部活の中で

この半年間が

すごく楽しくて

充実していました。

私にはいつも支えてくれる人がいてくれました。

その人たちのおかげで3年間なぎなたを続けることができました。
もし、支えてくれる人がいなかったら

3年間なぎなた部を続けることは
できてなかったです。

今になって振り返ってみると

辛かったことや

苦しい思いをしたこと

なぎなた部員で

笑った時と同じくらい

良い思い出です。

最後に・・・

なぎなた部で良かったです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2427y/>

部活でのmemory

2011年11月5日14時18分発行